

記入例

平成〇〇年寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書

第五十五号の様式（附則第二条の四関係）

平成〇〇年 〇月 〇日 尾張旭市長 殿	整理番号
住所 〇〇県△△市〇〇町△△番地	フリガナ 〇〇〇 〇〇〇
	氏名 〇〇 〇〇 印
	個人番号
電話番号 0000-00-0000	性別 男 女
	生年月日 〇 〇 〇 〇 〇 〇

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」という。）第15条第1項に規定する個人番号）を記載してください。

個人番号（マイナンバー）を記入してください。

申請書を提出する際に、併せて、本人確認書類も提出してください。

は、下の欄に必要な事項を記載してください。

(注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

(注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する場合には、同一に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられない。

寄附の年月日、金額を記入してください。

寄附の証明書（領収書、寄附金受領証明書など）で確認してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
平成〇〇年 〇月 〇日	62,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、①及び②に該当すると見込まれる者をいいます。

- (1) 地方団体に係る寄附金を振替する者
- (2) 地方団体に係る寄附金について、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

以下の条件に該当する場合はチェックをしてください。

- ・ 所得税の申告を行う必要がない。
- ・ 寄附金控除を除き、確定申告を行う必要がない。

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、ふるさと納税の特例対象年のふるさと納税の長の数が5以下である場合をいいます。

ふるさと納税ワンストップ特例の申請を行う都道府県、市町村の数が5以下である場合はチェックをしてください。

(切り取らないでください。)

平成 年寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

尾張旭市にて記入する箇所ですので記入の必要はありません。

受付団体名